

第6回自治推進委員会の審議事項の要旨

【平成21年11月16日開催】

1 第5回委員会の審議事項等の確認

- ・第5回委員会の審議事項等について確認した。

2 第2期区民会議の取組状況について

- ・第2期区民会議における参加と協働の取組状況について、7区全体の取組及び中原区と麻生区の区民会議における取組状況を関係職員から説明・報告を受け、それをもとに意見交換を行った。

3 「市民自治の推進に向けた10の提言推進プラン」の進捗状況について

- ・第1期委員会の提言に対するこれまでの行政の取組について、事務局から説明し、それをもとに意見交換を行った。

4 報告書の骨子について

- ・これまでの調査審議状況を報告書としてまとめるにあたって、これまでの調査審議内容等を確認後、報告書の構成内容や提言について意見交換を行った。詳細については、12月22日に開催する小委員会で議論することを確認した。

意見交換の内容

<第2期区民会議の取組状況について>

- 地域課題への市民の当事者意識を育てている点など、川崎の市民自治のあり方としてもっとアピールすべきだ。
- 制度や運営上の課題はあるが、区民会議の誕生により自治の新たな動きが生まれてきている。
- 地域で地域課題の解決に取り組む組織が自主的に形成されていくことが理想である。
- 地域コミュニティが共通テーマとなっているが、そのアプローチ方法に各区の個性が現れている。
- 市民も取組を通して生活の充実や達成感、地域でのつながりや信頼関係の形成などの精神的報酬を得ることができる。
- 市民と行政が地域の課題を解決するために、協力することにより、双方の意識改革が進んでいく。
- 行政や他団体との連携や協働による取組の実施が成功への鍵である。役割分担も検討しながら進めることが、より実現性の高い提案につながる。
- まちづくり推進組織などとの調整や役割分担も各区の状況に合わせて進めていくのがよいのではないか。
- 区民会議が地域に密着した場となり、地域課題に対し、地域に近い所で、市民自らが役割分担を考えていくことが重要。
- 活動団体の母体を持たない公募委員の提案を地域の関係団体と連携して実現していくことが区民会議の腕の見せ所。

<「市民自治の推進に向けた10の提言推進プラン」の進捗状況について>

- 自治推進委員会からの提案が確実に実行されているということが確認できた。今期の報告書も責任をもってまとめていかなければならない。

<報告書の骨子について>

- 行政職員の人材育成や意識改革も重要だ。職員も経験の中で鍛えられていく面がある。
- 提言の中にできるだけ具体的な例が入ってくるとよい。
- NPO法人の育成や支援、町内会・自治会などの記述については、都市型コミュニティ検討委員会の検討内容との整合を図る。

5 その他 小委員会の日程及び次回の審議事項及び今後のスケジュールの確認

H20年度

H20

11月26日

第1回 自治推進委員会開催

【主な内容】○委嘱状交付、委員長・副委員長の互選、第1期の活動確認
○委員会の目的、審議事項、審議の進め方等の確認など



H21

1月20日

第2回 自治推進委員会開催

【主な内容】○参加、協働の仕組みと全体像の把握と課題の検討など
○パブリックコメント手続、審議会等の市民委員の参加、
住民投票制度、協働型事業のルール、区民会議



3月16日

第3回 自治推進委員会開催

【主な内容】○参加の仕組みに係る課題の検討など（事例分析：新総合計画、多摩川プラン、地域福祉計画）



H21年度

6月2日

第4回 自治推進委員会開催

【主な内容】○参加の仕組みに係る課題の検討など（事例分析：都市計画マスタープラン、緑の基本計画、鷺沼プール跡地（カッパーク鷺沼）整備）



7月21日

第5回 自治推進委員会開催

【主な内容】○協働の仕組みに係る課題の検討など（事例分析：川崎フロンターレ連携事業、かわさきコンパクト推進事業、多摩区子育て支援パスポート事業）

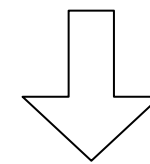
11月11日

講演会開催
「あなたの参加と協働が自治を
進めます！」
講師：佐谷和江 副委員長

10月6日

小委員会開催

第2期自治推進委員会の提言の
方向性を検討するために開催



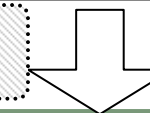
11月16日

第6回 自治推進委員会開催

【主な内容】○第2期区民会議の取組状況について
○推進プランの進捗状況の確認
○報告書の骨子案の取りまとめなど

12月22日

小委員会の開催
報告書の提言内容の検討



H22

2月1日

第7回 自治推進委員会開催

【主な内容】○報告書について



3月23日

報告書を市長へ提出